

# 議会だより

No143

平成27年  
4月30日発行

群馬県邑楽町議会 URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail [gikai@swan.town.ora.gunma.jp](mailto:gikai@swan.town.ora.gunma.jp)



長柄小学校の交通安全教室

## 平成27年 3月定例会

平成27年度予算可決(一般会計・各特別会計)

### 一般質問 6人の議員が町の考えを問う

・岩崎律夫 議員 ・大野貞夫 議員 ・松村 潤 議員  
・小沢泰治 議員 ・小島幸典 議員 ・原 義裕 議員

- 可決された議案……………3~4
- 予算質疑……………5
- 一般質問……………5~10
- わたしのふるさと等……11~12





**Q 大野貞夫議員** 邑楽町の中で、国民健康保険税が高くて納入できず、滞納もかなりの額にのぼっている。もう少し、一般会計からの繰出金を増額できないか。

**A 町長** これからの論議の中で検討して行きたい。

**Q 神谷長平議員** 邑楽町協働の町づくり活動補助金200万円が計上されたが、今年度については何団体くらい予想しているのか。

**A 町長** 上限50万円となると4団体になるが、協働の町づくりを考えていただけの団体が幅広く利用できるような考え方で進める。

**新年度予算質疑(要旨)**  
新年度予算についての質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。

**な支援の方法に関する基準等を定める条例**  
「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」が施行され、介護保険法の一部が改正されたことに伴い、従来、厚生労働省令で定めていた基準等を条例で定めました。

**邑楽町小口資金融資促進条例の改正**  
小口資金に係る暴力団排除条項の追加、現在の経済情勢を考慮し、引き続き小口資金に係る返済負担軽減策を継続するための群馬県小口資金融資促進制度要綱の改正及び中小企業信用保険法の改正に伴い条例を改正しました。

**邑楽町道路占用料徴収条例の改正**  
「道路法」及び「道路法施行令」の一部改正に伴い、道路占用料等の改正を行い、国の占用料と整合し

た額としました。

**邑楽町議会委員会条例の改正**  
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、条文を改正しました。

**〔人事案件〕  
人権擁護委員の推薦**  
法務大臣から、3年の任期で委嘱されている委員3名のうち、関根史代さん(鶴新田)が平成27年6月末に任期満了となることから、引き続き同氏を推薦することに意見が求められ、同意しました。

**〔契約締結事項の変更〕  
平成26年度社会資本整備総合交付金事業町道16・13号線橋梁下部工事**  
7452万円から7387万2000円に変更(64万8000円減)  
※変更理由  
土留工の施工変更により取り付け護岸の施工面積が減少したため

**一般質問**

一般質問は、3月11日に行われました。質問には、6人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

**これからの町づくりについて**

**岩崎律夫議員** 第六次総合計画と地方創生の数値目標はリンクすることが要求されている。計画を作るステップで町民の皆さん等の意見を聞く考えは。

**町民フォーラムを開催**

**町長** 町民フォーラム的なものを開催し、町政に対する意見や要望等を反映させていきたい。

**岩崎律夫議員** 邑楽町は農業を中心に町づくりを進めてきた。人口減少を食い止めて生き残っていくためには、産業誘致型・ベッドタウン型などがある。町はど

■平成26年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	90億 1,485万円	4,829万円	90億 6,314万円
国民健康保険特別会計	32億 6,480万円	5,387万円	33億 1,867万円
後期高齢者医療特別会計	2億 2,220万円	△149万円	2億 2,071万円
介護保険特別会計	18億 1,517万円	△4,505万円	17億 7,012万円
下水道事業特別会計	3億 1,764万円	△557万円	3億 1,207万円
学校給食事業特別会計	2億 4,882万円	△130万円	2億 4,752万円
水道事業会計	収益的支出	5億 3,367万円	5億 2,817万円
	資本的支出	2億 1,993万円	2億 2,482万円

■平成27年度当初予算額

会計別	本年度予算額	前年度予算額	対前年増減率	
一般会計	87億 5,300万円	82億 2,500万円	6.4%増	
国民健康保険特別会計	35億 9,165万円	30億 5,810万円	17.4%増	
後期高齢者医療特別会計	2億 2,232万円	2億 2,040万円	0.9%増	
介護保険特別会計	18億 1,504万円	17億 7,174万円	2.4%増	
下水道事業特別会計	2億 8,504万円	3億 0,593万円	6.8%減	
学校給食事業特別会計	2億 4,562万円	2億 4,883万円	1.3%減	
水道事業会計	収益的収入	5億 4,040万円	5億 4,626万円	1.1%減
	収益的支出	5億 2,939万円	5億 2,661万円	0.5%増
	資本的収入	2,047万円	1,215万円	68.5%増
	資本的支出	2億 5,589万円	2億 2,284万円	14.8%増

**岩崎律夫議員** 今の行政区のあり方が、時代に合わなくなっている。板倉町では行政区の再編案をまとめ、説明会を実施している。再編に向けて検討すべきだ。

**町長** 行政区の実情等を十分把握し、議論をしていく。内容を分析した中で投げかけることになる。

**岩崎律夫議員** 投票率向上について、若い人達の低投票率の現状に対し、教育の立場から、また選挙管理委員会としての立場からどう取り組まれるか。

**教育長** 1つ目は授業を通して、2つ目は体験的な活動を通して、3番目は家庭教育で投票への意識を家族で高め合うことが大切であると思う。

**選挙管理委員会書記長** 候補者の人物や政見を判断できる目を養って、自分の1票を投票することで初めて達成できるものと思う。

**岩崎律夫議員** 健康寿命を

延ばす取り組みについて、町が介護予防事業として取り組んでいる運動教室をもっともっと充実して、埼玉県和光市のように介護ゼロを目指してもらいたい。

**健康福祉課長** 平成27年度から\*ロコモ予防の教室も取り入れたい。ますます元氣教室、足腰筋力アップ教室も実施している。

**岩崎律夫議員** 町民満足度調査と満足度向上について町民に公表、公開してほしい。不満足のところを満足に変えていくという取り組みが一番重要なポイントだ。

**町長** 昨年7月、8月に2000人を対象に調査を行った。今集計中で、あまり次第公表したい。不満足のある部分について、例えば住民課窓口では毎週火曜日に午後7時15分まで2時間延長して業務に取り組んでいる。いろいろご意見をいただく中で、満足度が上がる仕事をしていきたい。

\*ロコモティブ症候群:運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態

## 学童の通学路の安全確保について

**大野貞夫議員** 国道122号の大根村交差点で拡幅工事を実施している。1年前の3月定例会で質問させていただいた。それから1年経過したが、現在この交差点を利用している子ども達の現状について聞きたい。  
**学校教育課長** 過日の登校時間帯の調査では、68名の通行を確認した。大多数が谷中蛭沼の子ども達で、下校時には10名から20名くらいの児童が横断している。

**大野貞夫議員** 実に多くの子ども達が、交差点を利用して通学している。従来はここに歩道橋がかかっていた。谷中蛭沼、大根村琵琶首の2つの行政区の子ども達は、それまで中野小学校に通学していたが、高島小学校の児童数が少なくなり、校区編成という話を持ち上がった。国道122号

を子ども達が安全に通行するために歩道橋という話が出て、保護者が署名運動など行ってきたのが今まであった歩道橋である。約40年近い間、大きな事故もなく、安心もしていた。ところが、今回拡幅工事を行うにつき、撤去された。保護者の中では「また当然つくのだから。今まであったのだから。なぜできないのだろう」との話題になっている。設置されないことについて町はどのように考えているのか。

**町長** 県道赤岩足利線や国道122号の交通渋滞を緩和することが道路拡幅の大きな目的である。国や県としては、片側1車線の道路については、原則歩道橋は設置しないという考えがある。もう一つは、高齢者や障害者の移動等の面を考えると、歩道橋の役割に課

題があるのでは。

**大野貞夫議員** もう一つの問題は、信号の角にコンビニエンスストアができる。24時間、車が入りするので、ますます子ども達の安全がどうなるのか心配である。別の方法も考えなければならぬ。一つには、スロープ形式にして、道路の下を通す方法。また、歩車分離方式信号機の設置。ポタンを押すことにより信号が全部赤になり、非常に有効な手段であると思う。24時間ではなく、学校の通学時間帯、例えば1時間だけ、信号機の扱い方をそのようにしてもらおうとか。

**教育長** 時間を置かないうちに、関係者で警察署に出向いていきたい。

**大野貞夫議員** 今の事態を本当に深く重く受けとめ、早急に方法を考えていくことで、決して後悔することのないように、事にあたっていたいただきたい。



拡幅された大根村交差点

## 空き家対策について

**松村 潤議員** 高齢化や人口減少を背景に全国で空き家が増え続け、問題になっている。本町では空き家の数はどのくらいか。

**安全安心課長** 賃貸用の空き家が680戸、個人住宅としては470戸である。

**松村 潤議員** 適正に管理されていない放置空き家、廃屋同然の空き家数はいくらいか。

**安全安心課長** 適正に管理されていないという判断基準は難しい。空き家敷地内の雑草が定期的に刈り取られているか、所有者の訪問があるかどうかという観点から考えると18件である。

**松村 潤議員** 適正に管理されていない、放置されている危険度の高い空き家に対して、解体に伴う費用の一部を助成してはどうか。

**安全安心課長** 解体となると多額の費用がかかり、町レベルでは財政的に難しいものがある。

**松村 潤議員** なぜ空き家を放置しておくのか。その理由は撤去費用が高額になることと、もう一つは固定資産税の問題である。現在空き家についても住宅用地の特例、土地に対する課税の特例という軽減制度がある。しかし、空き家を解体し更地にすると固定資産税の軽減措置が受けられなくなり、税負担が3倍、6倍と重くなることで解体撤去を躊躇してしまふ。解体撤去を進めるために固定資産税の特例の部分について、解体後2年か3年は免除するということ考えはあるか。

**町長** 平成27年度の税制改正の中で、不適当な状態にある空き家、いわゆる「特

定空き家」については、固定資産税の住宅用の特例の対象から除外するというところも検討されている。町においても特別措置法の趣旨を十分認識し、空き家対策に関する条例を検討していくうえで、国の動向を注視しながら、十分な議論が必要であると考えている。

**松村 潤議員** 「邑楽町安全安心まちづくり推進条例」第12条には、「空地又は空き家を所有し又は管理する者は、当該空地又は空き家について、犯罪を防止するために必要な措置を講ずるよう努めるものとする」と明文化されているが、果してそれだけで地域住民の安全安心が本当に守られるのか疑問である。生活環境の保全と住民の安全安心を確保することを目的とする、空き家対策に関する条例化についてどう考えるか。

**安全安心課長** 特別措置法の施行を踏まえると、条例化については今後十分な実

## 歩車分離方式信号機の設置を要望

**町長** 歩車分離方式信号機の設置については、町でも既に関係者とともに大泉警

察署に要望している。今後もし引き続き、私も積極的に警察署長のところに行き、早期に歩車分離方式信号機の設置ができるように要望していきたい。

態調査や検討を行い、進めたいかなければならない。

**松村 潤議員** 行政のもう一步踏み込んだ対応策を講じることはできないのか。

**町長** 特別措置法が本年2月26日に施行された背景を考えていく中で、条例化の問題や空き家バンクの創設について、関係する課で十分検討していく。

## 空き家バンクの創設を検討

**小沢泰治議員** 両毛圏は、西北から、みどり市、桐生市、足利市、佐野市、そして東毛圏に入り、太田市と館林市、また私たちが住んでいるこの邑楽郡5町の6市5町が両毛広域圏になっている。特に強く連携が必要なのは、東毛圏、太田市、館林市、邑楽郡5町だと思

ているか十分認識していない。邑楽町の施設については、町民の方、あるいは町外の方も十分利用している」と認識している。

うが、各自自治体の施設がフル稼働しているか、邑楽町も含めて町長に聞きたい。

**町長** 東毛広域市町村圏に所属する各団体、自治体、他町の施設がフル稼働され

## 両毛広域圏の連携について

**小沢泰治議員** 東毛圏広域圏の運営組織体の中に、邑楽町の町長も入っている。そういう中で、ぜひ東毛圏あるいは両毛圏までも知っていたいただきたいが、私思うには十分に活用されていないのが実態だと思う。設置自治体も、あるいは、ほかの自治体も基本的には同



邑楽町福祉センター寿荘

65歳以上で、8人に1人が75歳以上である。家で水道やガスを使って、少人数でお風呂に入るより、寿荘を利用すれば、かなりの経済援助になる。午後9時まで開館時間を延長することで雇用も創出できるので、障害者が働く場所を町が提供

町長 平成22年4月から現在の料金体系になった。当時は町外の利用者が大変多

### 利用者協議会で検討

できる。勇気を持って、使用料の無料化を進めては、

小島幸典議員 行政の仕事については、構造改革特区を使うことにより、かなり広い仕事ができる。法律の縛りが解ける特区申請を考えたことがあるのか。

副町長 「寿荘」については、高齢者の健康増進及び教養の向上を図り、高齢者福祉の増進に資するためにセンターを設置したという目的がある。高齢者とは、一般的に介護保険や施設入所ができる65歳が一つの目安ではないか。働く時期が60歳までではなく、今は65歳まで延びてきている。65歳はいい区切りとされている。寿荘の振興対策は、利用者団体や指定管理者であ

く、利用について町内の方に不満もあった。料金の見直しをしたとき、若い方も負担をしてもらうことが必要ということを決めた。段階的に料金改定も視野にこの話もあったが、利用している方々の協議会等を踏まえた中で検討する。

### 相互利用の

### 効果を期待

条件で各市町民とも利用できる。ほかを利用するときには町民私たちが不都合を感じることはない。広域圏をフル活用し邑楽町民が、自分たちのいろいろな活動について他市町の施設を活用する。相互利用が可能ということは、町としては設備投資をしなくて済むということ、町民の利益、邑楽町の費用対負担ということになれば、利用価値は十分ある。そのように相互利用が自由にできる。町長として、町の管理者としたらどのように考えるか。

はないかと思っている。

小沢泰治議員 今、邑楽町

がほかに例を見ないような人口減少過程に入っている。そんな中、やはり複数、過剰投資を避ける意味で、私は地域の皆さんの満足度も得ながら、これまでの施設を有効活用するような手だてを考えていただければと思うが、町長いかがか。

町長 現在も施設整備については、過剰投資ということには、私は当たらないと思っている。あえて邑楽町だけ人口減少が多いという

ことについては、私は認識として持っていない。

小沢泰治議員 東毛圏で見ても、すばらしい施設が他市町にもある。やはり各施設の情報提供を、しっかりとすべきだと思うが。

教育長 社会教育施設の相互協力、相互利用等について町民にお知らせするところは、確かに足りなかったと反省している。

### その他の一般質問

・町内防犯カメラの設置現況と今後について

## 寿荘の日曜開館と町民使用料の無料化を

小島幸典議員 福祉センター1寿荘の年齢別使用料と実績金額は。

健康福祉課長 年齢別使用料は、町内の60歳以上65歳未満の方が1000円、60歳未満の方が2000円、町外の方は3000円で、実績金

額は、平成24年度が176万5500円、平成25年度が158万1910円である。平成25年度の利用者数は4万7948人である。

小島幸典議員 少子高齢化の中、国民の4人に1人が



The Lounge  
— 休憩室 —



清水 邦英  
(十三坊塚・6区)

### 最近思う事

私が両親に連れられ、両親のふるさとである邑楽町に住んで約50年が経ちます。何故、邑楽町というふるさとに帰って来たのか、最近になって少し解った気がします。

邑楽町には多くの自然があり、子どもの頃の私には四季を通して楽しめ、少し手を伸ばせば、自然とふれあうことができる素晴らしい所だったこと。それと邑楽町の人の気質がとても素晴らしい、外から来た人でも「ほっとけます」という気持ちの持ち主が多いことだと思います。

全てにおいて、邑楽町という風土に育てられている素晴らしい町です。今は亡き両親が選んでくれたふるさとに感謝し、私も子どもがふるさとと誇れる邑楽町に少しでも貢献できればと思つこの頃です。



吉井 美春  
(明野・34区)

### 食育

私には3人の息子がいます。

子どもの離乳食ですが、長男のときは手作りを心がけていました。次男にはレトルトやドライフーズを使うことが増えました。長男と12歳離れている三男には家族と同じ料理を小さく切ったり、味を薄めたり、柔らかくしたりと手抜ききの食事でした。

我が家では、料理を一人ひとりではなく、大皿で出していました。皿が空になるので、三男が偏食ということに小学生になるまで気づきませんでした。母親として失格です。料理を口に入れても、飲み込むことができなかつた息子も、高校生になった頃から偏食も改善してきました。

僕の食育を手抜きしたと息子に言われてしまいました。今からでも、楽しくおいしい食卓を囲めるよう努力していきたいと思えます。



議会のうごき

2月

- 1日 板倉町町制施行60周年記念式典
- 6日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会
- 9日 全員協議会
- 10日 邑楽館林地域施策推進協議会
- 18日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 23日 西邑楽土地開発公社邑楽町事業所審議委員会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 27日 全員協議会

3月

- 10日~20日 定例会  
(本会議、議会運営委員会、全員協議会  
各常任委員会、広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 23日 幼稚園修了式  
太田市外三町広域清掃組合議会
- 24日 小学校卒業式
- 26日 邑楽館林医療事務組合議会  
館林地区消防組合議会
- 27日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会  
邑楽郡町村議会議長会総会
- 28日 保育園卒園式

4月

- 2日 広報委員会編集会議
- 7日 小・中学校入学式
- 9日 幼稚園入園式

新たに1件の請願が受理され、審査の結果次のとおりになりました。

【継続審査となっている請願】  
▼「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願  
請願者  
前橋市大渡町  
全群馬教職員組合  
執行委員長 石田清人

▼年金引下げの流れを止めることを国に求める請願書  
請願者  
前橋市樋越町  
全日本年金者組合群馬県本部  
執行委員長 女屋定俊  
邑楽町中野  
日本年金者組合群馬県本部  
部館林邑楽支部  
支部長 千野定夫



議員提案の決議案1件を可決しました。  
邑楽町出産祝金制度の改正を求める決議案

請願・陳情

決議案

町政運営の活性化について

原 義裕議員 町長が1年間の行政運営について施政方針で話されているが、町民とともに一丸となって町をつくっていくという意気込みを聞きたい。  
町長 最終目標は「やさしさと活気の調和したまち

原 義裕議員 総務課長に確認したい。施政方針による予算説明があったが、事業目標を達成させる方策、手段を具体的に町民に理解していただくものと思うが、総務課長 予算書は単年度主義となっている。施政方針は1年間の事業を説明したものであり、掲示板や「広報おうら」で周知させている。  
原 義裕議員 広報だけでなく町民座談会などで、施政方針や予算説明の趣旨等町の考え方を伝えるべきだ。また、毎年同じ文面では信頼が薄くなるのではないか。余計なところは省いて簡潔に、余分な労力と経費をかけないことが大事である。  
総務課長 今後は文書表現等を工夫していきたい。また、作成に当たって冊子をもっとコンパクトにできるか相談しながら検討したい。

原 義裕議員 協働して運営することも必要で、施政方針は町づくりの基本である。町行政運営の各課の連携について、今現在の状況を聞きたい。  
企画課長 全庁的な連携、課題の解決、対応等共通認識が必要な事項、また複数の課にわたる事業や案件があり、適切な行政執行のためには、各課の庁内会議がある。具体的には、課長会議、企画課所管の調整会議、総務課所管の重要施策事項を協議する庁議があり、情報の共有化を図り、町政運営に遺漏のないよう努めている。

原 義裕議員 町活性化の課題は、人口をふやし、税収を上げ、住民サービスを向上することである。人口増加政策について聞きたい。  
副町長 企画課では、県が主催する「群馬県バックアップ機能誘致協議会」に加盟し、空き家の有効利用や企業誘致等について学習や研究をしていきたい。住民課では、母子父子家庭の医療費助成の継続をしてい

きたい。子ども支援課では、多子家庭への保育料等の軽減やゼロ歳児の保育を実施する。保健センターでは、不妊症や不育症の女性への支援、乳幼児健診相談事業や感染予防事業等を実施していく。生涯学習課では、協働の町づくりを推進していく。  
原 義裕議員 各課単独での執行ではなく、連携して行えば、より効果がある。観光振興を図る各課の対応について聞きたい。

各課で協議し  
振興を図る

町長 群馬県では富岡製糸場が世界遺産に登録され、観光振興に力を入れている。邑楽町にも観光資源としての資源価値が大変あり、環境を整え、今後も振興をはかっていく。各課にまたがるものも多くあり、十分協議しながら町の振興を図っていききたい。

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、  
6月15日から19日を予定しています。

(開会は原則、午前10時 一般質問は16日、17日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで 88-5511(内線300)

# 群馬県大泉町



尾上 幸夫  
(谷中蛭沼・11区)

**私** は伊勢崎市に生まれましたが、父親が中島飛行機で働いていた関係で旧小泉町に越してきました。

昭和20年、空襲に遭い、防空壕から見た風景を良く憶えています。太田駅方面の空が真っ赤に見え、石打の観音様の方角に日の丸の付いた飛行機の翼だけがヒラヒラと落ちてきました。5歳から8歳までの記憶ですが、怖かったことを今も思い出します。学校へは国防色に塗った

紙製のランドセルを背おいた通いました。雪が積もっているのに長靴も買えない、厳しい時代でした。今、世界各地で多くの紛争がテレビで報道されています。いつも女性と子ども達はその被害で苦しんでいるのが実情です。戦争の苦しみは二度と味わいたくないものです。

日本は終戦後、平和を感じられる時代になりました。大泉町でも、蛍が飛び交い、小鮒やドジョウを取り楽しんでいました。

歳月とともに戦争の悲慘さが忘れ去られようとしています。それを伝え継ぐのは私達の使命と今改めて思っています。

昔なつかしい景色や環境を、いつまでも大切に子ども達に残してやりたいと思っています。



旧中島飛行場小泉製作所跡地



待ちに待った躍動する季節がやってきました。

さて、町議会におきましては第1回定例会が去る3月10日から20日までの会期で開催されました。一般質問では6人の議員が町政に対し活発な議論を行い、平成27年度予算につきましても、熱心な質疑、討論が行われ、可決しました。

また、議員発議により、「邑楽町出産祝金制度の改正を求める決議案」が提出され、全員賛成で議決されました。

4年間、広報委員を務めた私達にとっては、最後の議会だよりとなります。この間たくさんの方から素晴らしい原稿をお寄せいただきましたことに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(松村記)

長い間、大変お世話になりました。  
議会広報委員会



塩井 半田 松村 原 坂井 神谷